

～Thank you～

谷地南部小学校

校内研究だより

2023. 11. 28

No.13 文責 荒木

ICTの活用は進んでいますか？

先日の学びカフェは、「ICTの活用」について、お互いの実践を紹介し合う回となりました。西部小 大前先生、そして、伊藤先生の実践を中心に、新たなICT活用について学ぶよい機会となりました。

＜大前先生＞

画像（ロイロノート）を用いた授業研究会

授業中に撮った画像に、気づいたことを書き込み、それをもとに話し合うという事後研をしているそうです。「子どもの姿」から授業を語るというのは、本校の授業研にも通じますね。撮った画像は、ロイロノートの「資料箱（町内共有）」を活用して、校外の先生からも送っていただくことができます。

「Kahoot!（カフート）」「Canva（キャンバ）」の活用

夏休み中の研修でも教えていただいたソフトです。「Kahoot!」は、ゲーム感覚で知識・技能を高められるソフトです。「現代版ドリル学習」といった感じでしょうか。

「Canva」は、広告やプレゼンに使えるデザインツールです。とにかくデザインがオシャレでたくさんあるので、子どもたちに使わせたら、きっと喜んでくれるはずです。

＜伊藤先生＞

外国語教材のデジタル化

4年生の外国語で、それまで紙でやっていた「パフェを作る」という活動を、パソコンのソフトでやってみたそうです。紙でするより、パソコンの画面上でやった方が、細かい作業もなくやりやすいですね。このデータを伊藤先生も「資料箱（町内共有）」に入れてくださっているので、誰でも使えますよ。

ロイロノートの「テスト」機能を使った問題作り

ロイロノートで、テスト（4択問題）を作れるというのはご存知でしょうか？作ったテストは、他の人に配付し、解いてもらうこともできます。4年生では、自学でこれをやってくる子がいるそうです。授業中の隙間時間に作成したり、お互いに解いたりすることもできますね。

お二人が紹介してくれたものは、実はインターネット上にあるフリー素材をアレンジして使われたものです。私たちがこんな教材があったらいいなと思うもののほとんどは、すでに誰かが作ってくれています。「資料箱（町内共有）」もそうですが、データを共有し活用することで、教材作成に割く時間を、別のことに有効に使いましょう。

